

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		10 03 02	中期総合計画主要施策番号		3-08	担当課	部・課	林務部 森林づくり推進課	
事業名		災害関連緊急治山(公共[治山])					内線	3261	
							E-mail	shinrin@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	災害により新たに発生または拡大した荒廃山地や地すべり地で、次期降雨等により人家、重要な公共施設に直接被害を及ぼす恐れのある箇所について、緊急に整備を実施して県民の安全・安心な暮らしを確保する。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] 集中豪雨や地すべり等による土砂災害が多発し、大きな被害を発生させている。							
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] 集中豪雨の増加、急峻で脆弱な地形・地質、放置林の増加等により、災害発生の危険性が增大している。							
		[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] 二次災害や再度災害を防止するために、緊急を要する箇所の早期復旧を行う必要がある。							
	事業内容	二次災害、再度災害発生防止のために、谷止工、山腹工、地すべり防止工等により整備する。 災害関連緊急治山事業、災害関連緊急地すべり防止事業、(補助率:【国】2/3、【県】1/3)							
実施期間	S33 ~	根拠法令等 森林法第41条、地すべり等防止法第7条							
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	当年度発生災害発生箇所のうち、緊急を要する箇所を復旧整備し、安全を確保する。		20年発生災害箇所のうち緊急を要する3箇所の復旧工事に着手する。			早期復旧に向け、全箇所について20年度内に工事に着手した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	843,342	381,704	342,400	国庫・県単	公共	
	決 算 額 (B)		千円	2,381,853	750,390		実施方法	直接	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	42,272	13,852	3,067	歳出節別内訳等	予算現額(最終予算額+繰越額) 1,030,958 1箇所当たり平均工事期間 1年	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	11.00	3.00	10.00	(単位: 千円)		
	概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	2,381,853	750,390	342,400			
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	事業実施箇所数		箇所	11	3	10	H20年度完了箇所数:11箇所		
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・H18年7月、H19年9月等の集中豪雨、H19年5月の地すべりなど、毎年山地に係る土砂災害が発生し、事業のニーズは高い状態で推移している。 ・森林法等により、施設整備は県が行うものとされている。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		・緊急対応については概ね期待どおりの成果が得られているが、大規模化する災害に対して引き続き緊急を要する箇所の早期復旧に努めていく。 ・近年は比較的規模の大きい地すべり災害が発生している。						